

# 第14回日本てんかん学会近畿地方会プログラム

【日 時】 平成30年7月29日（日）

- \*脳波セミナー 10時00分～11時00分
- \*近畿地方会 11時20分開始
- \*ランチョンセミナー 11時30分～12時30分
- \*総 会 12時40分～13時00分
- \*特別講演 14時50分～15時50分

【会 場】 大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアルホール

〒530-0005  
大阪市北区中之島4-3-53  
TEL：06-6444-2100 / FAX：06-6444-2338

【会 長】 當間 圭一郎（住友病院 神経内科）

【脳 波 「小児の脳波とてんかんへのアプローチ」

セミナー】 小林 勝弘（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 発達神経病態学 教授）

共催：大塚製薬株式会社 / ユーシービージャパン株式会社

【ランチョン 「てんかんに対する外科治療とニューロモデュレーション治療」

セミナー】 川合 謙介（自治医科大学 脳神経外科 教授）

共催：ユーシービージャパン株式会社 / 第一三共株式会社

【特別講演】 「オシレーションの研究とてんかん」

美馬 達哉（立命館大学大学院 先端総合学術研究科 教授）

## 次回予告

第15回日本てんかん学会近畿地方会

日 時：平成31年7月28日（日）

会 場：大阪大学中之島センター

会 長：高田 哲（神戸大学名誉教授 /  
神戸市総合療育センター診療所長）

# 参加者の皆様へ

【受付】 10階ロビーにて9時30分より受付を開始いたします。

【地方会参加費】 会員2,000円、非会員4,000円、非会員研修医3,000円  
脳波セミナーを受講された技師2,000円

【脳波セミナー参加費】 2,000円

※脳波セミナーの参加費と地方会参加費は異なります。

※脳波セミナーのみご参加いただくことは可能です。

※引き続き地方会に参加される場合は地方会参加費が別途必要となります。

【抄録集】 2,000円（会員には事前発送いたします。）

【単位】

日本てんかん学会てんかん専門医資格更新単位：

研究発表・講演（筆頭演者）20単位、参加者10単位（近畿地方会参加者）

※同一学術集会における発表単位と参加単位は合算しない。

日本臨床神経生理学会認定更新点数：2点（脳波セミナー受講者のみ）

【交通案内】 大阪大学中之島センター

■電車でお越しになる場合

- ・京阪中之島線中之島駅6番出口より徒歩約5分、渡辺橋駅1番出口より徒歩約5分
- ・阪神本線福島駅より徒歩約9分
- ・JR東西線新福島駅より徒歩約9分
- ・JR環状線福島駅より徒歩約12分
- ・地下鉄四つ橋線肥後橋駅より徒歩約10分
- ・地下鉄御堂筋線淀屋橋駅より徒歩約16分

■駐車場はありません。車でのご来館はご遠慮下さい。



# 発表者の皆様へ

## 【受付・発表時間について】

1. 発表時間の30分前までにPC受付に発表データ（USBフラッシュメモリーなど）をお持ちください。
2. 発表6分、質疑2分です。発表時間を厳守して下さい。
3. 発表開始後6分でベルが1回、質疑2分を越せばベルが2回鳴ります。

## 【発表使用機材について】

1. 会場に発表用のパソコンをご用意しております。
2. 会場でご利用いただけるパソコンは下記の通りです。  
※ Windows 7/8、アプリケーションソフト：Windows MS PowerPoint 2010/2013/2016
3. CD-R (CD-ROM)、USB フラッシュメモリー持込みの注意点
  - 1) 動画がある場合にはCD-R等のメディアは使用できません。必ずノートパソコンをお持込みください。
  - 2) CD-RおよびUSBフラッシュメモリーでお持込みの場合は下記の様式で保存してご用意ください。  
※ Windows…MS PowerPoint 2010/2013/2016
  - 3) Macintoshの場合は、ノートパソコンをお持込みください。
  - 4) フォントは文字化けを防ぐため下記フォントに限定します。  
日本語…MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝  
英語…Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman
4. プレゼンテーションに他のデータ〈静止画・グラフ等〉をリンクさせている場合は必ず「図」として挿入してください。  
※元のデータからリンクすることは、トラブルの原因となりますので避けてください。  
※事前に必ず作成に使用されましたパソコン以外でのチェックを行ってください。

## 【ノートパソコン持込みの注意点】

1. OSはWindows、Macintoshが使用できます。  
※使用するアプリケーションはPowerPointのみとさせていただきます。
2. バックアップ用データとしてCD-R (CD-ROM) またはUSBをご持参ください。  
またパソコンのACアダプターは必ずご用意ください。
3. 会場でご用意するPCケーブルコネクタの形状はMiniD-sub15ピンです。この形状に合ったパソコンをご用意ください。またこの形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご自身でご持参ください。
4. スクリーンセーバー、省電力設定、パスワードは予め解除してください。  
※発表データ受付時に確認させていただき、設定が解除されていない場合は設定を変更させていただく場合がありますので、ご了承ください。  
※パスワードの設定が解除されていない場合は、パスワードロック時にお呼び出しをする場合がございます。

## 脳波セミナー

10:00 ~ 11:00

◆座長 安原 昭博 (安原こどもクリニック)

共催: 大塚製薬株式会社 / ユーシービージャパン株式会社

## 小児の脳波とてんかんへのアプローチ

小林 勝弘

(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 発達神経病態学)

## 開会あいさつ

◆会長 當間 圭一郎

11:20 ~ 11:30

## ランチョンセミナー

11:30 ~ 12:30

◆座長 貴島 晴彦 (大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学)

共催: ユーシービージャパン株式会社 / 第一三共株式会社

## てんかんに対する外科治療とニューロモデュレーション治療

川合 謙介

(自治医科大学 脳神経外科)

## 休憩

12:30 ~ 12:40

## 総会

◆議長 加藤 天美

12:40 ~ 13:00

## A. 小児症例

13:00 ~ 13:48

◆座長 川脇 壽 (大阪市立総合医療センター 小児神経内科)

### 1. 特異な臨床経過・臨床発作像を呈した内側前頭葉てんかんの小児例

○大谷 和正<sup>1)</sup>、富永 康仁<sup>2,3,4)</sup>、青天目 信<sup>2,3)</sup>

1. おおたにクリニック
2. 大阪大学大学院医学系研究科 小児科学
3. 大阪大学医学部附属病院 てんかんセンター
4. 大阪大学大学院 連合小児発達学研究科

### 2. West症候群のACTH治療後、左口角に局限したepileptic spasmsが認められた1歳7ヶ月男児例

○加藤 竹雄<sup>1,2)</sup>、赤澤 明子<sup>1)</sup>、濱田 周<sup>1)</sup>、石原 剛広<sup>1,2)</sup>、井手 見名子<sup>1,2)</sup>、  
松本 貴子<sup>1,2)</sup>、毎原 敏郎<sup>1,2)</sup>

1. 兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科
2. 兵庫県立尼崎総合医療センター 小児神経内科

3. 小児期発症の難治性局在関連てんかんにおけるラコサミドの使用経験  
○中島 健、平野 翔堂、大星 大観、木水 友一、池田 妙、最上 友紀子、柳原 恵子、鈴木 保宏  
大阪母子医療センター 小児神経科
4. MPSI (migrating partial seizure in infancy) の1例  
○中井 理恵、青天目 信、林 良子、谷河 純平、岩谷 祥子、富永 康仁、下野 九理子、大藪 恵一  
大阪大学医学部附属病院 小児科
5. てんかん性スパズムを発症した急性出血性白質脳炎の1例  
○山本 直寛<sup>1,3)</sup>、川脇 壽<sup>1,3)</sup>、永瀬 静香<sup>1,3)</sup>、温井 めぐみ<sup>1,3)</sup>、井上 岳司<sup>1,3)</sup>、九鬼 一郎<sup>1,3)</sup>、岡崎 伸<sup>1,3)</sup>、國廣 誉世<sup>2,3)</sup>、宇田 武弘<sup>2,3)</sup>、松阪 康弘<sup>2,3)</sup>  
1. 大阪市立総合医療センター 小児医療センター 小児神経内科  
2. 大阪市立総合医療センター 小児医療センター 小児脳神経外科  
3. 大阪市立総合医療センター 小児青年てんかん診療センター
6. 学童期から神経調節性失神に伴う全般性強直間代発作 (GTCS) を繰り返し経過中に非誘発性のGTCSに移行した1例  
○井上 岳司<sup>1)</sup>、九鬼 一郎<sup>1)</sup>、碓井 太雄<sup>2)</sup>、神田 益太郎<sup>3)</sup>、池田 昭夫<sup>3,4)</sup>  
1. 大阪市立総合医療センター 小児神経内科, 小児青年てんかん診療センター  
2. 宇治徳州会病院 救急総合科  
3. 医仁会武田総合病院 神経内科  
4. 京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座

## B. 成人症例 (1)

13:48 ~ 14:36

◆座長 三枝 隆博 (大津赤十字病院 脳神経内科)

7. 歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症のミオクローヌスに対してペランパネルが有効であった一例  
○松成 亮太<sup>1,2)</sup>、木下 真幸子<sup>2)</sup>、石原 稔也<sup>2)</sup>、山本 兼司<sup>2)</sup>、松本 理器<sup>3)</sup>  
1. 国立病院機構京都医療センター 神経内科  
2. 国立病院機構宇多野病院 神経内科  
3. 京都大学医学研究科 臨床神経学 (神経内科)
8. 慢性経過を呈したシェーグレン症候群関連辺縁系脳炎の1例  
○影山 恭史<sup>1)</sup>、赤荻 茉莉子<sup>1)</sup>、竹内 由起<sup>1)</sup>、甲田 一馬<sup>1)</sup>、山田 隆平<sup>1)</sup>、米田 行宏<sup>1)</sup>、橋本 由貴<sup>2)</sup>、本多 正幸<sup>3)</sup>、下竹 昭寛<sup>3)</sup>、池田 昭夫<sup>3)</sup>  
1. 兵庫県立尼崎総合医療センター 神経内科  
2. 神戸大学大学院医学研究科 神経内科学  
3. 京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座
9. 片側下肢の一過性感覚消失・脱力を交代性に呈したりウマチ性髄膜炎の1例  
○和泉 賢明、村方 健治、田邊 康人、中村 敬、高橋 由佳子、長尾 茂人、山本 徹、尾崎 彰彦  
大阪府済生会中津病院 脳神経内科

10. 既知抗体が陰性で免疫治療が奏功した自己免疫性てんかんの1例  
 ○長谷川 華子<sup>1)</sup>、戸島 麻耶<sup>1)</sup>、梶川 駿介<sup>1)</sup>、下竹 昭寛<sup>2)</sup>、坂本 光弘<sup>1)</sup>、本多 正幸<sup>3)</sup>、  
 松本 理器<sup>1)</sup>、池田 昭夫<sup>2)</sup>、高橋 良輔<sup>1)</sup>  
 1. 京都大学大学院医学研究科 臨床神経学  
 2. 京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学  
 3. 京都大学大学院医学研究科 臨床病態検査学
11. 海馬腫大をきたした抗VGKC抗体陽性成人発症てんかんに対し、ラコサミド併用が著効した1例  
 ○榊原 梢、雑賀 玲子、田村 優、辻 雄太、篠藤 裕也、柴田 洋子、高橋 牧郎  
 大阪赤十字病院 神経内科
12. めまいで受診し、脳波異常を呈し抗てんかん薬が有効であったてんかん性めまい症の2症例  
 ○細川 明子<sup>1)</sup>、岸野 義信<sup>1)</sup>、井上 秀文<sup>1)</sup>、原 斉<sup>1)</sup>、中野 美佐<sup>1)</sup>、山戸 章行<sup>2)</sup>  
 1. 市立吹田市民病院 神経内科  
 2. 市立吹田市民病院 耳鼻咽喉科

---

休憩

14:36 ~ 14:50

---

特別講演

14:50 ~ 15:50

◆座長 當間 圭一郎 (住友病院 神経内科)

オシレーションの研究とてんかん

美馬 達哉

(立命館大学大学院 先端総合学術研究科)

---

休憩

15:50 ~ 16:00

---

C. 成人症例 (2)

16:00 ~ 16:40

◆座長 鶴飼 聡 (和歌山県立医科大学 医学部 神経精神医学教室)

13. 一過性てんかん性健忘と考えられた2症例  
 ○辻 富基美、山田 信一、山本 眞弘、鶴飼 聡  
 和歌山県立医科大学 医学部 神経精神医学教室
14. 認知機能障害を伴うてんかん患者に対するp-tau測定活用の試み  
 ○三枝 隆博、吉田 弘樹、藤田 理奈、北川 理、後藤 昌広、宇佐美 清英、松井 大  
 大津赤十字病院 脳神経内科
15. 反復する一過性の意識変容と異常行動を呈し、8ヶ月後の発作時脳波でNCSEと確定した82歳女性例  
 ○岡山 公宣<sup>1,2)</sup>、徳岡 秀紀<sup>1)</sup>、千原 典夫<sup>1)</sup>、関口 兼司<sup>1)</sup>  
 1. 神戸大学大学院医学研究科 神経内科学分野  
 2. 静岡てんかん・神経医療センター てんかん科

16. 視覚性運動失調などの多彩な高次脳機能障害を呈した非癌性てんかん重積発作の一例

○山中 治郎<sup>1)</sup>、酒巻 春日<sup>3)</sup>、小畑 馨<sup>1)</sup>、橋本 修治<sup>2)</sup>、末長 敏彦<sup>1)</sup>

1. 天理よろづ相談所病院 神経内科
2. 天理よろづ相談所病院 白川分院
3. 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 臨床神経学

17. 頻繁に健忘発作を呈した高齢者てんかんの1例

○當間 圭一郎、田村 暁子、関谷 智子、小川 慈、二宮 怜子、岡田 信久、六車 彩子、西中 和人、宇高 不可思

住友病院 神経内科

## D. 外科治療

16:40 ~ 17:20

◆座長 中野 直樹 (近畿大学 医学部 脳神経外科)

18. 後帯状皮質てんかんの一例

○KHOO HUI MING<sup>1,2)</sup>、Frauscher Birgit<sup>2)</sup>、Gotman Jean<sup>2)</sup>、谷 直樹<sup>1)</sup>、押野 悟<sup>1)</sup>、貴島 晴彦<sup>1)</sup>

1. 大阪大学医学系研究科 脳神経外科
2. Montreal Neurological Institute, McGill University

19. 多彩な前兆を示し術後一過性に半側空間無視を認めた右側頭頭頂葉てんかんの1例

○西林 宏起<sup>1)</sup>、尾崎 充宣<sup>1)</sup>、中尾 直之<sup>1)</sup>、田中 禎之<sup>2)</sup>

1. 和歌山県立医科大学 医学部 脳神経外科
2. 済生会和歌山病院 脳神経外科

20. 難治性側頭葉てんかんを呈し摘出手術が有効であった Calcifying pseudoneoplasms of the neuraxis の一例

○田上 雄大<sup>1)</sup>、宇田 武弘<sup>1)</sup>、中条 公輔<sup>1)</sup>、西嶋 脩悟<sup>1)</sup>、佐々木 強<sup>2)</sup>、大畑 建治<sup>1)</sup>

1. 大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学
2. 守口生野記念病院 脳神経外科

21. 言語優位半球皮質に発作源を有する外傷性てんかんに対して焦点切除術を行った一例

○宮内 正晴、中野 直樹、露口 尚弘、加藤 天美

近畿大学 医学部 脳神経外科

22. VNS 施行後にてんかん焦点切除術が可能となった右後頭葉てんかんの1例

○田村 健太郎

奈良県立医科大学 脳神経外科

◆座長 中野 美佐 (市立吹田市民病院 神経内科)

23. Lgi1 変異 rat のてんかん発症過程の Kir4.1 チャンネル発現変化：遺伝性部分てんかんへのグリアの関与と発症予防  
○金星 匡人<sup>1,2,3)</sup>、佐藤 和明<sup>1,3)</sup>、清水 佐紀<sup>1)</sup>、芹川 忠夫<sup>1)</sup>、伊東 秀文<sup>2)</sup>、池田 昭夫<sup>3)</sup>、大野 行弘<sup>1)</sup>  
1. 大阪薬科大学 薬品作用解析学研究室  
2. 和歌山県立医科大学 神経内科学  
3. 京都大学 医学部 てんかん・運動異常生理学
24. Ictal DC shifts の時定数 10 秒と 2 秒の頭蓋内脳波記録・表示の相違は、頭皮上脳波でも反映されるか？  
○梶川 駿介<sup>1)</sup>、村井 智彦<sup>2)</sup>、小林 勝哉<sup>1)</sup>、人見 健文<sup>3)</sup>、大封 昌子<sup>1)</sup>、松橋 眞生<sup>4)</sup>、山尾 幸広<sup>5)</sup>、菊池 隆幸<sup>5)</sup>、吉田 和道<sup>5)</sup>、國枝 武治<sup>6)</sup>、松本 理器<sup>1)</sup>、高橋 良輔<sup>1)</sup>、池田 昭夫<sup>7)</sup>  
1. 京都大学大学院医学研究科 臨床神経学  
2. 京都市立病院 神経内科  
3. 京都大学大学院医学研究科 臨床病態検査学  
4. 京都大学大学院医学研究科 脳機能総合研究センター  
5. 京都大学大学院医学研究科 脳神経外科学  
6. 愛媛大学大学院医学研究科 脳神経外科学  
7. 京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座
25. 急性期病棟における簡易装着型脳波計の運用  
○中野 直樹<sup>1)</sup>、布川 知史<sup>1,2)</sup>、宮内 正晴<sup>1)</sup>、吉岡 宏真<sup>1)</sup>、中川 修宏<sup>1)</sup>、露口 尚弘<sup>1)</sup>、加藤 天美<sup>1)</sup>  
1. 近畿大学医学部 脳神経外科 難治てんかんセンター  
2. 近畿大学医学部 救命救急センター
26. Arterial spin labeling にて小脳半球に局限性の高灌流領域を認めた全般てんかんの一例  
○木下 真幸子<sup>1)</sup>、中原 一樹<sup>2)</sup>、鈴木 理恵<sup>3)</sup>、小畑 馨<sup>4)</sup>、松成 亮太<sup>5)</sup>、田端 宏充<sup>6)</sup>  
1. 宇多野病院 神経内科  
2. 宇多野病院 放射線科  
3. 宇多野病院 小児科  
4. 天理よろづ相談所病院 神経内科  
5. 京都医療センター 神経内科  
6. 大阪回生病院 神経内科
27. 未報告の SCN1A 遺伝子変異が同定された乳児期発症進行性ミオクローヌステんかん女児例  
○矢野 直子<sup>1)</sup>、吉田 健司<sup>1)</sup>、林 貴大<sup>1)</sup>、高折 徹<sup>1)</sup>、舞鶴 賀奈子<sup>1)</sup>、横山 淳史<sup>1)</sup>、滝田 順子<sup>1)</sup>、小崎 健次郎<sup>2)</sup>  
1. 京都大学医学部附属病院 小児科  
2. 慶應義塾大学医学部 臨床遺伝学センター